



2016年3月29日

各位

会社名 マックスバリュ東海株式会社
 代表者名 代表取締役社長 神尾啓治
 (コード番号: 8198 東証第二部)
 問合せ先 経営管理本部長 高橋 誠
 (TEL. 055-989-5050代)
 当社の親会社 イオン株式会社
 代表者名 取締役兼代表執行役社長 岡田元也
 (コード番号: 8267 東証第一部)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2016年1月8日に公表した2016年2月期の業績予想を下記の通り修正いたしますのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2016年2月期通期連結業績予想の修正 (2015年3月1日～2016年2月29日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	219,000	4,100	4,000	1,400	78.71
今回修正予想 (B)	219,408	4,791	4,675	1,873	105.32
増減額 (B-A)	408	691	675	473	
増減率 (%)	0.2	16.9	16.9	33.8	
(ご参考)前期実績 (2015年2月期)	208,666	3,264	3,376	1,268	71.36

(2) 2016年2月期通期個別業績予想の修正 (2015年3月1日～2016年2月29日)

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	215,200	4,650	4,550	1,750	98.38
今回修正予想 (B)	216,141	5,316	5,215	2,197	123.53
増減額 (B-A)	941	666	665	447	
増減率 (%)	0.4	14.3	14.6	25.5	
(ご参考)前期実績 (2015年2月期)	206,615	3,744	3,840	1,546	87.01

2. 修正の理由

個別業績につきましては、多様化するお客さまの価値観や消費行動に対応すべく、地域性の高い地元商品の品揃え拡充や歳時記への対応を強化し、地域密着経営の更なる推進を図りました。また、店舗競争力向上に向けた改装を32店舗で実施するとともに、消費二極化への対応やデリカを中心とした16時以降の販売力強化に加え、挨拶や接客レベルの向上に取り組むなど、営業及び商品力の強化、サービスレベルの向上に継続して努めてまいりました。更には、WAONを軸とした販促企画など来店頻度向上への取組みを背景に、既存店の来店客数は2015年12月度以降、継続して前年を上回る推移へと改善いたしました。

これら取組みの相乗効果により、既存店における売上総利益率は0.3ポイントの改善見通しであり、売上高についても対前年同期比102.2%と堅調に推移いたしました。一方、販売費及び一般管理費につきましては継続的な経費削減効果により既存店ベースで昨年を下回る見通しであります。これらの結果、営業収益に加え、営業利益、経常利益、当期純利益が各々前回予想を上回り、中でも個別営業利益及び同経常利益につきましては過去最高益となる見通しであります。これらを主な押し上げ要因とし、連結業績におきましても各々当初予想を上回る見通しとなりました。以上の理由により、2016年2月期の業績予想を修正いたします。

なお、2015年4月9日に公表した配当予想につきましては、修正はありません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は今後様々な要因によって業績予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上